

TFTプログラムをご担当くださっている皆さまへ

日頃からTABLE FOR TWOプログラム実施のため多大なるご支援を頂戴しまして誠にありがとうございます。本資料は、かわら版だけでは伝えきれない支援先の情報を皆さまにお届けするための補足資料です。貴団体内でのコミュニケーションやPRにご活用いただければ幸いです。今後とも引き続きのご支援、何卒宜しくお願い致します。

<補足資料Vol.20をお送りするにあたって>

近年、エチオピア経済は著しく成長していますが、貧困率は非常に高く、子どもの2人に1人は栄養不良で、発育や成長を妨げる原因となっています。今回の補足資料では、エチオピアの様子や給食プログラムの実施状況についてお伝えいたします。

2ページ目以降の資料は掲示板への掲出や、卓上POPとしてご利用いただけます。かわら版本紙、補足資料ともに、TFTのウェブサイトからダウンロードしてご利用いただけます。

<日本でのTFTプログラムの実施状況>

計 674社・団体

<これまでに寄せられたご寄付> *TFT事務局に入金された寄付金額ベースで食数に換算

合計 3,558万3,077食分

世界食料デー・ソーシャルアクション おにぎり一斉いただきます！

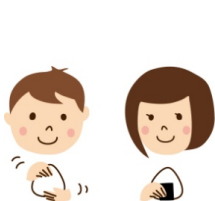
10月16日は国連が制定した世界食料デー。
TFTでは、10/16～11/30の期間に、100万人の子どもたちに給食を届ける事を目指し、100万人のいただきます！キャンペーンを開催します。

今年のキャンペーン目玉企画『おにぎりいただきます！ソーシャル・アクション』の特設サイトが完成しましたので、ご案内いたします。

<http://jp.tablefor2.org/campaign/onigiri/>

10月16日(金)のランチタイムに、おにぎりを食べて、いただきます！の写真をサイトに投稿すると、写真1枚につき協賛企業様から100円が寄付され、アフリカ・アジアの子どもたちに給食5食分をプレゼントすることができます。

写真を投稿するだけで、アフリカ・アジアに給食を届けることができるソーシャルアクション。皆さまのご参加をお待ちしています。



おにぎりを作る・買う



おにぎりいただきます
& 写真撮影



写真をサイトに投稿

THANK YOU!



TABLE FOR TWOを通じて
アフリカ・アジアの
子どもたちに給食が届く



エチオピアは東アフリカに位置する連邦共和制国家で、ソマリア、ケニア、南スーダン、スーダン、エリトリア、ジブチに囲まれています。主な産業は農業でコーヒーや穀物の栽培が盛んです。著しい経済成長を遂げているものの、主産業が天候に影響されやすい農業であるため、貧困や食料不足が問題となっています。栄養失調などが原因で、5歳未満の子ども1,000人あたり64人が命を落としています。

TABLE FOR TWOは2013年1月からNew Life Community Organization(NLCO)という団体と協力して、エチオピアの首都・アディスアベバのアカキカリティ地区で給食支援を行っています。



NLCOは1994年にエチオピアで創設された団体で、子どもや女性が社会に貢献・参加できる環境を作ることを目指しています。NLCOは首都・アディスアベバとエチオピア南部で幼稚園を7校、小学校を5校、さらに職業訓練センターを4校、コミュニティ・カレッジを1校経営しています。



NEW LIFE
COMMUNITY ORGANIZATION

2005年のエチオピアの教育制度の改革をきっかけにNLCOの学校給食活動は始まりました。それ以前は午前か午後の授業どちらか片方に出席すればよいシステムで、大半の子どもたちは午前の授業に出席し、放課後は働いて収入を得ていました。

しかし政府によって午前と午後の両方の授業にすることが義務付けられると、学校に来る子どもが減ってしまいました。働く時間がなくなってしまうということもひとつの理由ですが、昼食を学校に持っていくことが必要になり子どもに昼食を持たせる余裕のない家庭の子どもたちが学校に来なくなってしまったのです。

子どもたちの健康状態の改善、また学校への出席率を上げるためNLCOは給食プロジェクトを始動しました。

学校給食は教育の機会をうみだしています



アカキ地区の小学校に通う約1,000人の生徒に給食が提供されています。子どもたちの健康状態が改善されただけでなく、登校率も上がり、授業中の集中力も向上しています。



給食室と原材料を保存するための倉庫が学校に併設されています。

料理には栄養満点の材料が多く使われています

給食に使われる食材には栄養価の高いものが選ばれています。主にエチオピアで生産されるテフという穀物から作られるインジェラというエチオピアの人々の主食は、シチューといった副食と一緒に食べられます。他にも小麦や豆類が給食に取り入れられています。



給食室で調理された給食は教室に運ばれます。そして、一人一人のお皿に取り分けられます。

一人分の給食です。野菜も数種類入っていて、バランスのとれた食事となっています。

母親の就業にも繋がりました

給食室で働く人の中には小学校に通う子どもの母親たちがいます。

プログラムの一環として50人の母親たちがNLCOの職業訓練センターで研修を受けました。大量の食事の調理方法や食品の栄養、衛生を保つ方法や厨房管理についての指導を受けました。

その後、彼女たちは子どもたちが通う学校で昼食の準備や皿洗い、掃除といった仕事を行うことになりました。現金収入のなかった彼女たち仕事を得ることで、家庭に新たな収入源が生まれました。



関係者の声



「給食プログラムが始まる以前は、子どもたちは痩せていて弱々しかったのですが、給食が始まってからは子どもたちの表情が明るくなりました。」

ネットサネット先生

「給食が始まってから、僕はちゃんと授業に出られるようになりました。この給食プログラムを可能にくださった皆さんに感謝しています。」

アクリルくん



「子どもたちの健康状態はプログラムによって大分改善されました。以前に比べて体重が増えた子が多く、適正体重に近づいています。」

保険医のビーナス先生